

山形県統計グラフコンクールの概要

統計グラフコンクールとは

- 主催 山形県、山形県統計協会
- 後援 山形県教育委員会、山形県市町村教育委員会協議会
- 目的 統計の役割と重要性についての理解を深め、統計の普及と発展に役立てるとともに、統計の表現技術の研さんを図ります。
- 作品のまとめ方 身の回りで疑問に思っていることや、テレビや新聞で話題になっていることなどをテーマに観察や調査を行ったり、統計資料を集めたりして、それらのデータをグラフ化し、ポスター（B2判）形式にまとめます。
- 全国グラフコンクール 山形県統計グラフコンクールは、統計グラフ全国コンクールの一次審査という位置づけとなっており、入選以上の作品は、全国コンクールへ出品します。

★ **募集期間** 令和5年6月2日（金）～8月28日（月）

★ 応募の区分・資格

【第1部】 小学校1・2年生 【第2部】 小学校3・4年生 【第3部】 小学校5・6年生

【第4部】 中学生 【第5部】 高等学校以上の生徒・学生及び一般

【パソコン統計グラフの部】 小学校1・2年生、小学校3・4年生、小学校5・6年生、中学生、高等学校以上の生徒・学生及び一般

★ 応募数について

応募作品数 224 作品（令和4年度 287 作品）

制作者数 273 名（令和4年度 379 名）

応募学校数 18 校（令和4年度 27 校）

★ 審査員

役名	所属職名	氏名（敬称略）
審査員長	東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科 教授	田中 康博
審査員	河北町立溝延小学校 教頭	古澤 純子
審査員	山形県教育センター 指導主事	佐藤 勝治
審査員	山形県統計企画課 課長（山形県統計協会副会長）	小宮山 亮

★ 表彰

山形県知事賞、山形県教育長賞、山形県統計協会賞及び審査員特別賞については、令和5年11月21日（火）山形テルサにて開催予定の山形県統計大会において表彰します。また、入賞作品は、県内4地区で展示を行います。